



1_専念寺(中町)を会場に開催された写真塾。プロの写真家の話に耳を傾ける受講生 2_高校の写真部員を対象に開催した写真塾。高校生が撮影した写真に関口さんからテーマや構図について質問が飛ぶ 3・4_小原の上戸沢を訪れて火の見櫓を撮影。普通に撮ったのでは面白くない。さまざまな角度から撮影することが大事と説明 5_高校生を前に、今度来るときは一緒に撮影をしたいと話す関口さん



1_大好きな片倉小十郎について話す松平さん 2_幕末期に撮影された大坂城の写真で解説する北川館長

しろいし
慕心、明日へ。
しろいし

ほしん
~戊辰戦争150年 しろいし慕心プロジェクト~
歴史フォーラム & 写真塾を開催

受け継ぎたい先人のころざしを胸に 歴史と写真から白石への思いをはせる

白石で感じたあなたの心を写し出してください
「しろいし慕心」フォトコンテスト作品募集!

- 関口照生さんを審査員に迎え、写真コンテストを開催します。
- 応募期限 2月15日(木) ※当日消印有効
 - テーマ ①「戊辰の面影」部門 戊辰戦争の時代を感じさせるもの。史跡限定ではなく、自然・風景や人物などでも構いません。
 - ②「あなたが心から慕うもの」部門 恋しい、懐かしいなど「慕う心」を感じさせるもの。人物限定ではなく、動物・植物・自然・風景などでも構いません。
- ※①②部門とも、白石市内で撮影した作品限定
- 応募資格 プロアマ制限無し。カラー・モノクロ可
 - 応募規定 ・1人5点まで応募可(ただし、同一箇所は3点以内)。
・応募者本人が撮影した未発表および発表予定のない作品に限る。
- ※応募作品の返却はいたしません。
- 応募作品 印画紙プリント…四切(ワイド四切、A4も可)
 - 応募方法 応募チラシ、または公式ホームページより応募票をダウンロードし、必要事項を記入のうえ作品の裏側に貼り付けて、事務局へ郵送してください。



〒989-0206 宮城県白石市字寺屋敷前25-6 「しろいし慕心」フォトコンテスト事務局
@白石市教育委員会生涯学習課(白石市中央公民館内) ☎0224-22-1343
しろいし慕心プロジェクトホームページ shiroishi-boshin.jp

しろいし慕心 検索

戊 辰戦争から150年を迎えスタートした「しろいし慕心プロジェクト」。白石が深く関わる戊辰戦争の歴史を学ぶことで、市民がまちを愛し、まちを慕う心を醸成し、白石の未来への推進力を育もうと、先月「戊辰戦争150年記念・歴史フォーラム」と「関口照生写真塾」を開催しました。

歴史を通して白石を見つめる

12月16日、ホワイトキューブで開催された歴史フォーラムには、市民など400人の歴史ファンが集まりました。

第1部は、元NHKアナウンサー松平定知さんの講演が行われ、自身も好きな武将の一人である片倉小十郎についてのお話がありました。伊達政宗を支え、政宗の窮地を何度となく救った逸話を感慨深げに講演していました。

続く第2部は、松平さんと大阪城天守閣館長の北川央さんによる戊辰戦争にまつわる対談が行われました。初めに北川館長が、戊辰戦争は大坂城から出陣した旧幕府軍と薩長軍との鳥羽・伏見の戦いに始まると解説。

また、一般的に幕府側「守旧派」、対する薩長「改革派」というイメージがあるが、決してそう

ではなく、幕府自体もさまざまな改革を行っていたと紹介。対談では、奥羽越列藩同盟の中心機関が白石に置かれたのは、同盟の主軸である伊達藩の南境に位置し、会津にも近かった点にあると語りました。

最後に、会津救済に立ち上がった奥羽諸藩の魂が、白石に結集したことを市民は誇りに持つ。その魂は、今でも日本人の心を打っていると結びました。

写真を通して白石を見つめる

12月10・11日、写真家の関口照生さんを招いての写真塾が開催されました。10日の専念寺で開かれた塾には、一般から応募のあった25人が参加。11日の市防災センター会議室で開かれた塾には、白石高等学校と白石工業高等学校の写真部の部員47人が参加しました。

塾では、関口さんがこれまでの撮影した写真や、昨年白石で撮影した写真などをモニターに映し出して解説。また、受講生が撮影した写真へアドバイスや意見交換をしました。

参加した白石工業生は「先生の写真は、普段知っていない白石とは違った視点で勉強になりました。私も新しい白石を発見したいです」と話してくれました。